



幼保小だより

幼小連携・接続推進コーディネーター 小瀬知里(扇山小学校)

幼児期の学び～アプローチカリキュラム

富良野市内の幼児教育施設で、本事業の提携園である「慈恵ひまわり幼稚園」の取組を紹介します。幼稚園へは、カリキュラムの内容に合わせて訪問日を決めさせていただいています。

ひまわり幼稚園では、来年度の小学校入学へ向けてアプローチカリキュラムに取り組み始めています。まずは第1回目、ということで9月に「公園探検(計3回)」を実施しました。実際の公園探検は3回ですが、公園探検へ向けて日常の保育活動の中で少しずつ取り入れていました。

< 学びのつながり～アプローチカリキュラム >

①なぜ、公園探検が「アプローチカリキュラム」なの？

小学校の生活科の単元をイメージするとわかりやすいと思います。もし単元名と目標を設定するとしたら、ということを考えてみました。

【単元名】「公園探検にいこう」

- 【目標】
- ・友達と話し合いながら、目的地を決めることができる。
 - ・文字、地図や自然物に興味、関心をもつことができる。
 - ・公共マナーを意識しながら友達と協力して、目的地に行くことができる。
 - ・学びを振り返り、次の目標を見出すことができる。



先生「みんなで公園探検にいきいたいなあ」
 「知ってる公園ある？」
 園児「にしきまち こうえん！」「くものす！」
 「〇〇ちゃんちのよこの こうえん！」
 先生「どの公園に行こうかな、楽しみだね」

教室に貼られた地図を見て、道のりを確認する2人…



錦町公園へ、行くには…



こっちの道じゃない？

どうやっていくのかな。何か目印ある？



このお花、何だろう？



公園から帰ってきて、すぐに振り返りをしました。体験したばかりのことで主体的に発言する姿が見られます。



公園到着！自分たちの力で目標を達成したよ！

先生「公園までの道のりで発見したものはあったかな？」
 園児「お花があった！」
 園児「トキワサンザシだよ。」
 (前回の公園探検で発見した物を、興味のある子は辞典で調べていた)
 園児「次は、〇〇公園へいきたい！」

この1年半、富良野市ではスタートカリキュラムに焦点をあてて取り組んできました。その中で、本当の意味での幼小接続は「アプローチ」があっただけではないかという議論がなされています。本事業は残りわずかですが、少しでも今後の幼小連携の発展につながるよう、取り組んでいきたいと考えています。

【アプローチカリキュラムとは】

就学前の幼児が円滑に小学校の生活や学習へ適応できるようにするとともに、幼児期の学びが小学校の生活や学習で生かされてつながるように工夫された5歳児のカリキュラム。(国立教育政策研究所 H28.5)

